

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年5月11日
【四半期会計期間】	第30期第1四半期（自平成24年1月1日至平成24年3月31日）
【会社名】	コスモ・バイオ株式会社
【英訳名】	COSMO BIO COMPANY,LIMITED
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 笠松 敏明
【本店の所在の場所】	東京都江東区東陽二丁目2番20号
【電話番号】	03-5632-9600
【事務連絡者氏名】	取締役財務部長 世良 伸也
【最寄りの連絡場所】	東京都江東区東陽二丁目2番20号
【電話番号】	03-5632-9600
【事務連絡者氏名】	取締役財務部長 世良 伸也
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第29期 第1四半期連結 累計期間	第30期 第1四半期連結 累計期間	第29期
会計期間	自平成23年 1月1日 至平成23年 3月31日	自平成24年 1月1日 至平成24年 3月31日	自平成23年 1月1日 至平成23年 12月31日
売上高(百万円)	2,137	2,195	7,192
経常利益(百万円)	416	433	856
四半期(当期)純利益(百万円)	216	226	458
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	249	276	518
純資産額(百万円)	5,190	5,542	5,343
総資産額(百万円)	6,428	6,810	6,734
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	3,584.35	3,814.78	7,651.74
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	73.8	74.3	72.4

(注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第29期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクに重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるバイオ研究関連の試薬・機器市場は、3月末を年度末とする大学・公的研究機関の需要があったものの、民間企業においては、研究分野の絞り込みも見られ、バイオ研究支援市場全体としては弱い動向にありました。一方、為替レートは当第1四半期連結累計期間平均78円/ドル(今期計画83円/ドル)でありました。

このような環境下、当社グループは、新規仕入先・商品の開発、プロモーション及び販売促進に努め、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,195百万円(前年同期比2.7%増)、売上総利益は1,001百万円(前年同期比4.6%増)、売上総利益率は45.6%となりました。

販売管理費等の費用面につきましては、ほぼ計画通りとし、営業利益は442百万円(前年同期比2.4%増)、経常利益は433百万円(前年同期比4.1%増)、四半期純利益は226百万円(前年同期比4.3%増)となりました。

なお、売上高を品目別にみますと、研究用試薬1,475百万円(前年同期比0.8%減)、機器671百万円(前年同期比11.2%増)、臨床検査薬47百万円(前年同期比5.6%増)となりました。

(2)財政状態の分析

(資産)

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、現金及び預金が262百万円減少したものの、売上債権(受取手形及び売掛金)が463百万円増加したこと等により、300百万円増加いたしました。有形固定資産につきましては、3百万円減少いたしました。無形固定資産につきましては、12百万円減少いたしました。投資その他の資産につきましては、208百万円減少いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は6,810百万円(前連結会計年度末比75百万円増)となりました。

(負債)

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、未払法人税等が102百万円減少したこと等により、120百万円減少いたしました。固定負債につきましては、2百万円減少いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における負債は1,267百万円(前連結会計年度末比123百万円減)となりました。

(純資産)

主に利益剰余金が155百万円増加したことにより、当第1四半期連結会計期間末における純資産は5,542百万円(前連結会計年度末比199百万円増)となりました。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4)研究開発活動

当第1四半期連結累計期間において、研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	183,616
計	183,616

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年3月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年5月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	60,480	60,480	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株制度は 採用しており ません。
計	60,480	60,480	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増減 額(百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成24年1月1日～ 平成24年3月31日	-	60,480	-	918	-	1,221

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年12月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年3月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 1,200	-	（注）
完全議決権株式（その他）	普通株式 59,280	59,280	（注）
端株	-	-	-
発行済株式総数	60,480	-	-
総株主の議決権	-	59,280	-

（注）完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。

【自己株式等】

平成24年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
コスモ・バイオ株式会社	東京都江東区東陽二丁目2番20号	1,200	-	1,200	1.98
計	-	1,200	-	1,200	1.98

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年1月1日から平成24年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,279	1,016
受取手形及び売掛金	2,310	2,774
有価証券	834	1,005
商品及び製品	712	653
仕掛品	-	0
原材料及び貯蔵品	17	18
その他	115	102
貸倒引当金	6	8
流動資産合計	5,264	5,564
固定資産		
有形固定資産	179	176
無形固定資産		
のれん	47	44
その他	166	157
無形固定資産合計	213	201
投資その他の資産		
投資有価証券	782	568
関係会社株式	11	11
その他	288	293
貸倒引当金	4	4
投資その他の資産合計	1,077	868
固定資産合計	1,470	1,245
資産合計	6,734	6,810

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	420	495
短期借入金	20	20
未払法人税等	284	182
その他	368	274
流動負債合計	1,092	971
固定負債		
退職給付引当金	173	176
役員退職慰労引当金	28	30
負ののれん	9	9
その他	86	79
固定負債合計	298	295
負債合計	1,390	1,267
純資産の部		
株主資本		
資本金	918	918
資本剰余金	1,221	1,221
利益剰余金	2,826	2,981
自己株式	67	67
株主資本合計	4,899	5,054
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延ヘッジ損益	25	7
その他の包括利益累計額合計	25	6
少数株主持分	470	482
純資産合計	5,343	5,542
負債純資産合計	6,734	6,810

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 】
 【 四半期連結損益計算書 】
 【 第 1 四半期連結累計期間 】

(単位 : 百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 1月 1日 至 平成23年 3月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 1月 1日 至 平成24年 3月31日)
売上高	2,137	2,195
売上原価	1,180	1,194
売上総利益	956	1,001
販売費及び一般管理費	524	558
営業利益	432	442
営業外収益		
受取利息	2	3
その他	5	10
営業外収益合計	7	13
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	23	22
営業外費用合計	23	22
経常利益	416	433
特別利益		
固定資産売却益	0	1
保険解約返戻金	3	1
その他	1	-
特別利益合計	4	2
特別損失		
固定資産除却損	0	-
その他	12	5
特別損失合計	12	5
税金等調整前四半期純利益	407	430
法人税等	178	186
少数株主損益調整前四半期純利益	228	243
少数株主利益	12	17
四半期純利益	216	226

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	228	243
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	0
繰延ヘッジ損益	18	32
その他の包括利益合計	20	32
四半期包括利益	249	276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	237	258
少数株主に係る四半期包括利益	12	17

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
1. 税金費用の計算	税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

【追加情報】

	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)	
当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。	

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
受取手形	52百万円	74百万円
支払手形	3	17

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び負のれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
減価償却費	14百万円	18百万円
のれんの償却額	3	3
負のれんの償却額	0	0

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年3月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年3月25日 定時株主総会	普通株式	108	1,800	平成22年12月31日	平成23年3月28日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年3月27日 定時株主総会	普通株式	71	1,200	平成23年12月31日	平成24年3月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年12月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年12月31日)

当社グループは、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額	3,584円35銭	3,814円78銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	216	226
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	216	226
普通株式の期中平均株式数(株)	60,480	59,280

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年5月11日

コスモ・バイオ株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山田 良治 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 安斎 裕二 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 長南 申明 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているコスモ・バイオ株式会社の平成24年1月1日から平成24年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年1月1日から平成24年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、コスモ・バイオ株式会社及び連結子会社の平成24年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲には、XBRLデータ自体は含まれておりません。